

元気に育て すくすく育て

最新の情報は、「市ホームページ」または「はつっこ手帳（母子モ）」を確認するか、各申込先へ問い合わせてください。参加する場合は、家での体温測定やマスクの着用など感染予防をお願いします。母子モのダウンロードはこちら▶



備考欄は、①内容、②持ってくる物、③問い合わせ・申込先です。
※産前産後サポートセンター、山崎本社 みんなのあいプラザは駐車場が少ないので、来場の際は公共交通機関をご利用ください

■ 育児教室【乳幼児と保護者】

とき	ところ	備考
6日(火) 10:00~11:30	友和保育園	①わんぱくKIDS ふれあい遊び ③5日(月)までに佐伯支所☎@1124
9日(金) 10:30~12:00	佐伯子育て支援センター	①赤ちゃんすくすく広場 0歳児・1歳児の子育てサロン ③2日(金)までに佐伯子育て支援センター☎@2391

■ 育児相談【乳幼児と保護者】

とき	ところ	備考
5日(月) 9:30~10:30	山崎本社 みんなのあいプラザ	①身長・体重測定、保健師または栄養士による個別相談 ②親子(母子)健康手帳 ③子育て応援室☎@9188、前日までに大野支所☎@3309
13日(火) 9:30~11:00	大野福祉保健センター	

■ 身体測定【0歳児と保護者】

とき	ところ	備考
月~土曜日 9:00~16:00	産前産後サポートセンター	①保健師または助産師による身長・体重測定・個別相談 ②親子(母子)健康手帳 ③産前産後サポートセンター☎@9252(申し込み不要)

■ BP1プログラム【生後2~5カ月の第1子とそのお母さん】

とき	ところ	備考
1日、8日、15日、22日(木) 10:00~12:00	産前産後サポートセンター	①第1子育てているお母さんのための、絆づくり・仲間づくり・学びのプログラム(1クール4回コース) ②予約後に案内します ③母子モからWEB予約、問い合わせは産前産後サポートセンター☎@9252

■ ママカフェ【0歳児とお母さん】

とき	ところ	備考
6日、13日、20日(火) 13:00~15:00	産前産後サポートセンター	①楽しくおしゃべりしてリフレッシュ ③母子モからWEB予約、問い合わせは産前産後サポートセンター☎@9252

■ マタニティカフェ【妊婦】

とき	ところ	備考
12日(月) 13:00~15:00	産前産後サポートセンター	①お母さん同士、妊婦・出産・育児のことを話ませんか ③母子モからWEB予約、問い合わせは産前産後サポートセンター☎@9252

■ 令和4年度 廿日市市親子の絆づくりプログラム~BP2プログラム~“きょうだい生まれた!”

「BP2プログラム」は、第2子以上の赤ちゃんを育てているお母さんと赤ちゃんと一緒に参加するプログラムです。きょうだいを迎える新しい生活。うれしいことも、楽しいこともたくさんあるけれど、ついイライラしたり悩んだりしていませんか？
子育ての喜びや困りごとを話し合いながら、育児の知識やスキル、親の役割などを学び合います。
全5コースでお母さん同士たくさんお話ししながら、子育ての困りごとヒントを見つけ不安を解消していきましょう。

日程・テーマ

とき	テーマ
①令和5年2月27日(月)	新しい出会い
②令和5年3月6日(月)	子どもとの関わり方
③令和5年3月13日(月)	子どもの心の発達と「しつけ」
④令和5年3月20日(月)	私のストレス
⑤令和5年3月27日(月)	親としてより良く生きる

ところ 佐方市民センター2階和室
対象 お母さんと未就学のきょうだいのいる、生後2~7カ月(令和4年6月28日~令和4年12月27日生まれ)の赤ちゃん
定員 1コース・全5回 10組(原則全5回参加できる人)
※1人1コース限り
参加費 1,100円(税込み・テキスト代)
※BP1参加者ですすでにテキストを持っている人は不要
託児 必要な上の子のみ
※詳細は申し込み後に案内します
問い合わせ・申込先 市役所子育て応援室「ネウボラはつかいち」☎@9188
申込締切 令和5年2月24日(金)(先着順)

はつトピ!

はつかいちの旬な話題を提供します

明るい社会を目指す気持ちを大切に

10/13 作文コンテストの表彰状授賞式に10人

犯罪のない安全で安心な地域社会を目指す「社会を明るくする運動」の作文コンテストに、市内小中学生470人が応募し、10人が表彰されました。式典に出席した松本市長は「どの作品も素晴らしい。まちづくりの一員として一緒に明るい社会をつくりましょう」と述べました。作文はFMはつかいちで放送された後、表彰状授賞式を主催した廿日市地区保護司会により冊子にされ、市内各学校に配布する予定です。



小学校1年生から中学校2年生までの10人の皆さんが賞状と花束を受け取りました

珍しい秋の味覚に舌鼓

10/21 玖島でマコモタケの料理教室開催

玖島花咲く館で、マコモタケを使った料理教室が開かれました。マコモタケは、「マコモ」というイネ科の植物の根元の茎が肥大したもので、シャキシャキとした食感が特徴。秋が旬です。地元農家と地域支援員が協力し、遊休農地活用の一環で栽培しています。

管理栄養士・料理家の山口ようこさんを講師に迎え、炊き込みご飯や味噌汁など8品を作りました。参加者は「初めて食べたが、甘くておいしい」と満足した様子でした。



揚げ物や炒め物、刺身にしても味わうことができ、参加者は料理の幅の広さに驚いていました

児童虐待の防止を訴えるヒーロー

10/28 メープルカイザーがやってきた

11月は児童虐待防止月間です。児童虐待防止啓発活動に長年取り組んでいる「安芸戦士メープルカイザー」が、山崎本社 みんなのあいプラザにやってきました。

市では各地域に相談支援拠点のネウボラ、子育て支援センターがあるほか、今年4月に開所した産前産後サポートセンターでは、助産師などが妊娠期からの相談に応じていることを伝え、親子の居場所づくりの大切さを担当部長と語り合いました。



子どもたちが安心して健やかに成長できることがメープルカイザー(写真左)の願いです

走る楽しさを体験

10/24 世界陸上銅メダリスト 為末大さんの走り方教室で子どもたちが軽やかに駆け抜けました

原小学校で、世界陸上銅メダリストの為末大さんによる「走り方教室」が開かれました。子どもたちは走るときの基本的な動作から、速く走るコツなどを教えてもらい、いきいきとした表情で走っていました。

質問の時間では、小学校6年の山田杏湊さんが「うまくいかないときはどうしていますか」と聞くと、為末さんは「一番大事なことは面白いこと」「嫌になっても続けるために自分を飽きさせないこと」と答えました。子どもたちは「コツを見つけてうれしかった」「いい先生に出会えてうれしかった」と話し、笑顔があふれる授業でした。



▲ハードルの間を走るときのリズムも学び、タイミングを見計らってジャンプ!



為末大さんが世界大会で飛べたハードルは高さ1メートル以上

一般財団法人 佐伯郡地方振興財団が創設100周年を迎えました

10/29 旧佐伯郡から受け継いだ森林を守り、地域に貢献

郡制廃止に伴い大正11年11月11日に設立認可を受けた(一財)佐伯郡地方振興財団が記念式典を開催しました。



中山間地域の買い物の強い味方に

11/4 無人店舗おまかせくん 浅原交流会館店OPEN

佐伯(浅原)地域に無人店舗が開店しました。この店舗は令和4年9月に市、マックスバリュ西日本株式会社、浅原地域の自治組織である浅原の未来を創る会が締結した「買い物支援に係る覚書」によるものです。

たくさんの地域の人が見守る中に行われたオープニングセレモニーではバイオリン演奏やテープカットに温かい拍手が送られました。店内や移動販売車では訪れた人自らが商品をレジに通し、電子マネーなどで支払いをしていました。



無人店舗は毎週木~月曜日(年末年始を除く)の9時~17時に営業中。キャッシュレス決済のみ